

1 学校経営の方針

ICTを活用した授業づくりと基礎・基本の定着を柱に、知・徳・体の調和を図りながら未来を生き抜く「自ら考え、仲間と協働できる生徒の育成」を目指して、家庭・地域と連携しながら信頼される学校づくりに努める。

2 学校経営の全体構想

◇国の法令・教育基本法等

◇栃木県教育振興基本計画
【基本理念】とちぎに愛情と誇りをもち未来を描きともに切り拓くことのできる心豊かでたくましい人を育てます。

◇日光市学校教育基本計画
【学校教育目標】ふるさと日光を愛し、人や地域とつながり、活力ある未来を創造する児童生徒の育成

本校の教育目標

未来を拓く(創造)
共に生きる(共学)
自ら生きる(自学)

◇生徒の実態

- 純粋な心をもっている
- 人懐っこい・距離が近い
- 学校行事に意欲的
- ・基本的生活習慣に課題がある
- ・学習習慣が定着していない

◇保護者の実態

- P T A活動に協力的
- ・複雑な家庭環境

◇地域の特性

- 観光地
- 協力的な学校支援ボランティア

目指す学校像(笑顔) **E**

「笑顔あふれる学校」

- あいさつがあふれる学校
- 歌声があふれる学校
- 感謝と称賛があふれる学校

目指す生徒像(共生) **K**

「自分らしく輝き、共に生きる生徒」

- 自分の強みを知り、それを伸ばす生徒
- 互いのよさを認め、協働する生徒
- 自分を律し、たくましく生きる生徒

目指す教師像(3W) **S** **イヤグ=777**

「ヘッド・フット・ネットワーク+1」

- 分かる授業づくりに努める教師
- 生徒一人一人のよさを認める教師
- 同僚・家庭・地域から信頼される教師

研究主題(学校課題) **「自ら考え、仲間と協働できる生徒の育成」**
～ICTを活用した授業づくりと基礎・基本の定着を柱に～

〈育成を目指す資質・能力〉

- 自ら基礎的・基本的な知識・技能の習得に努め、それを活用する力(課題対応力)
- 互いの気持ちや考えを伝え合い、認め合い、力を合わせる心(社会形成能力)
- 自分を律しながら、健康と体力を保持増進する力(自己管理能力)

D **P**

Point!

確かな学力

- ①未来を生き抜くための学力の育成
 - ・ICTを活用した授業づくり(分かる授業と主体的・対話的・深い学びの追求)
 - ・基礎的・基本的な知識及び技能の習得
 - ・家庭学習の習慣化とやる気の醸成
- ②指導と評価の一体化(評価・通知表2期制)
- ・指導の改善に生かす評価体制の確立(補助簿の工夫)

豊かな心

- ①生徒指導の充実
 - ・自己指導能力と温かな人間関係の醸成(自己存在感・共感的人間関係・自己決定=生徒指導の3機能/あいさつと感謝の習慣)
 - ・休みがちな生徒への組織的対応
- ②感動のある学校行事
 - ・行事を通した様々な「学び」の実践
 - ・生徒主体の企画・運営
- ③人権教育の推進
 - ・人権が尊重される学年・学級経営
 - ・人権と平等の視点による諸活動
- ④心に響く道徳教育の推進
 - ・主体的に考え議論する道徳の授業
 - ・全教育活動を通した道徳教育
- ⑤学校や地域に誇りや愛着をもつ心の醸成

成果指標: 同一集団におけるQ-U「学級生活満足群」の割合が+5ポイント以上←自分の強みや相手のよさを認める教育活動

健やかな体

- ①部活動の充実
 - ・感動と自己成長感の創造
 - ・協調性・連帯感・規範意識の育成
 - ・時間を意識した効率的な練習
- ②安全で潤いのある教育環境
 - ・清掃活動の充実と深化
 - ・校内環境や施設・設備の点検・整備
- ③保健教育による健康保持増進
 - ・食物アレルギーへの対応
 - ・自己管理能力を育む指導
- ④体力の向上
 - ・実態分析による体力づくり
- ⑤安全教育の推進
 - ・自他の生命尊重
 - ・危険の予測と回避能力の育成

成果指標「元気に運動したり健康を大切に生活に努めたりしている」肯定的回答+5ポイント以上/反復横跳びとシャトルラン・虫歯の治療率UP

C **A**

学校経営の基盤

- 学年・学級経営
- 家庭・地域との連携・協力
- 教職員の資質・能力の向上

自己点検・自己評価
生徒・保護者による評価

学校関係者評価

改善策の検討

学校経営計画の見直し